



第31回IPSNWEB講演会 (YouTube期間限定公開)

性差を考慮した研究開発の重要性

現在では多くの分野で男性中心のテスト規格が実施されており、女性に対してはあまり配慮されておられません。医薬品分野においても、研究開発・臨床試験プロセスで性差を考慮していなかったために、社会実装の段階で重篤な副作用が惹起された事例があり、近年、性差を考慮する必要性が欧米を中心に活発に議論されております。我が国でも、遅ればせながら、この問題点が認識されつつあり、昨今、国の政策にも掲げられております。この度の講演会では「性差を考慮した研究開発の重要性」をテーマに、各界の先生方からご講演を賜わることにより、性差に関する諸問題を広くご理解くと共に、ご聴講された皆様方のご研究やお仕事等でお役に立てて頂ければ幸いです。

■配信期間：2025年3月31日（月）～2025年5月7日（水）9時まで

■参加費：無料（メールにて簡単申込→講演会限定URLをお知らせいたします）

プログラム

【性差を考慮した研究開発の推進】

～健康・医療分野における研究開発において、性差の視点を組み込む～
塩澤 久美子 《(国研) 日本医療研究開発機構 研究開発統括推進室研究開発企画課 主幹》

【性差医療：臨床からジェンダード・イノベーションまで】

片井 みゆき 《国立大学法人政策研究大学院大学 保健管理センター所長・教授
日本性差医学・医療学会理事長》

【性差を考慮したマネジメントが生み出す医療イノベーション】

内海 潤 《ティア・リサーチ・コンサルティング 合同会社 代表社員/CEO》

■お申込み方法:

①会社・大学・機関名、②部署、③お名前、
④お電話番号、⑤メールアドレス、
上記、ご記入の上、Eメールにてお申し込みください。
宛先：seminar@ipsn.co.jp

■お問い合わせ先:

横山(よこやま)知的財産戦略ネットワーク(株)
Tel: 03-5288-5401 Fax: 03-3215-1103
Email: yokoyama-masayo@ipsn.co.jp
WEBサイト <http://www.ipsn.co.jp>